

秋の研修交流会開く22人参加 班会の準備や苦労話交流 役員・さわやかさん・役員協力員

友の会かばら支部では毎年9月末に役員とさわやかさん、役員協力員のメンバーで「研修・交流会」を開いて来ました。今年は東綾瀬住区センターに22人が集まり「班会」について論議しました。



4つの班会の経験を報告後話し合う

かばら支部の班で常時、活動を重ねている所は東和3丁目の「すみれ班」、辰沼・神明地域の「あじさい班」、綾瀬6・7丁目と加平地域のオリーブ班の3ヶ所になります。

この三班からそれぞれの班活動を紹介してもらい討論をしました。

成功の秘訣は食事を 作り食べながら交流

この三班に共通している特徴は班会の評判が良く長く続きしていることです。その訳はみんな「もんじゃ焼き」（すみれ班）、「ギョウザ」（あじさい班）、「スイトン」（オリーブ班）などの食事を作りみんなで食べながら、おしゃべりを楽

しんでいることが上げられます。また、班会の運営に当たっては、中心になる役員さん（キーパーソン）が複数いて、会員との連絡や企画の中心になり進めていることが明らかにあります。また「あじさい班」の場合は準備会と反省会を必ず開き、世話役さん同士で話し合いを深めていることが班活動の継続につながっていることも紹介されました。

苦労ばなしに花をさかせ 安心から常連さんに

集まった会員で「私の故郷」「私の戦争体験」などを発表し合い、お互いの苦労話に花を咲かせることで「何でも安心して遠慮なしに話せる」気安さから「また参加したい」気持ちにながっているようです。

この研修会では成功している班会だけでなく失敗例も出されました。その成功しなかった地域では「食べ物の無い」「真面目な話ばかり」の班会で参加者が限られていたと言うことでした。

健康講座が始まる 「難聴」の話に62人参加

職員と友の会役員が実行委員会で知恵を出し合って企画した蒲原健康講座がスタートしました。10月3日（水）の「難聴」の講座には62人の参加があり、熱心に講師の話に耳を傾けていました。「難聴はどうして起きるのか」を解説したのは蒲原診療所の看護師の早川昌子さん。耳の解剖図を使い音の伝わり方、加齢と難聴の関係など分かりやすく話されました。この話の後で補聴器を扱うメーカーの方が補聴器の構造と仕組み、種類とそれぞれの特徴などを解説して頂きました。



スライドを使い耳の話をする早川さん

質問時間には「補聴器の値段が高すぎる。補助が必要ではないか」「補聴器を付ける」と異物が入り込む様で疲れる「な」と言う声も出始めました。今回は「拡大強化月間」の直前でもあり渡辺支部長が「会員拡大の目標達成」を訴え交流会を終わりました。

「入浴やプールに入る時に外さなければならぬので面倒」など生活をして行く上での問題点なども出されました。この健康講座は10月20日（土）「薬局の話」11月7日（水）召田先生の「入れ歯とインプラント」11月17日（土）高先生の「便秘の話」と続きます。いずれも診療所待合室で午後2時半からです。ぜひ、今から予定に入れてご参加ください。

報告 小川 務

報告 嶺岸 宏

会員拡大月間始まる

全国の民医連の病院・診療所・福祉施設等で職員と共同して、安心して住み続ける街づくりのため仲間を増やす行動をしています。

お友達を紹介してください。

沖縄県知事選勝利報告で大喝采 医療・介護の職場から過酷な労働実態を告発

「憲法・いのち・社会保障」もる国民集会」が10月11日、日比谷野外音楽堂で開かれました。民医連、医労連、保団連、土建などが主催し、全国から3700人が参加して会場の外まで溢れていました。

実行委員長森田しのぶさんの挨拶で、沖縄知事選勝利おめでとうの声に会場全員の歓声が始まり、安倍政権の福祉切り捨て、消費税10%値上げ、9条改悪、医師、介護、看護師を増やし、医療・介護サービス切り捨て、保険料値上げを許さない戦いを市民・野党共闘で勝ち取るうと宣言しました。



厚労省に向け3700人の命のコール

リレートークでは、医師ユニオン代表が医師の過酷な労働環境が語られ、休日

が取れず、医師が3割も不足し労働者と認められないと訴えがありました。看護師代表は、長野では車なしでは動けず、雪道や雪下ろしなどの悪条件で活動し、新人は続かないと話し、介護からは、人が集まらず、一人で現場、事務、介護をしなければならぬ苦労が報告されました。

あらためて安倍政権を倒そうと宣言し、厚労省に向けていのちを守れと全員でシユプレヒコールしてパレードに向かいました。

権力が隠そうとすることを明るみに出す

「国家戦略とメディア」と題しての望月衣塑子さんの講演会が民医連東部東葛ブロックなどの主催で、9月14日天空劇場でありました。東京新聞社会部記者、望月衣塑子さんは、日本歯科医師連盟のヤミ献金疑惑のスクープや防衛省の武器輸出

自立できる介護をめざし 奇跡が起こる

7月21日にかばらデイサービスセンターの施設長として異動して来た吉井暁と申します。実は私はかばらデイのオープンングメンバー（開設時の職員）として初めて介護の仕事に就きました。その後、青戸、埼玉三郷市の施設で経験を重ね今回、戻ってまいりました。



新施設長の吉井暁さん

私の家は高3の娘と1歳の息子がいます。環境にしたら、まだ完全に身体が目覚めていない状況がよく見えてきます。そのため血圧を連絡帳に記入するなど頭を使っています。ま

これまで私は介護保険が改定される毎に問題を感じていることがあります。それは介護度が高いのが介護保険扱いとしてしまい、在宅生活を維持するためのデイサービスでの役割の見直しが求められるようになったことです。そのためかばらデイサービスも在宅でできることはご自分の力で出きるようなサービス内容へプログラムを変えました。どんなこともご自分でできる環境にしたところ、まだ完全に身体が目覚めていない状況がよく見えてきます。そのため血圧を連絡帳に記入するなど頭を使っています。ま



望月衣塑子さん

のテーマを「権力を隠す」として

の取材や昨年からは、森友学園、加計学園の問題の取材で官房長官会見での質問を続けておられる人で、官邸の会見での「誰も聞かないなら私が聞くしかない」と生々しく、まるでその場に

秋の歌声喫茶のお知らせ
アコーディオンの生演奏で懐かしい歌、青春の歌など誘い合って歌いましょう

日時：11月25日（日）午後2時から4時
場所：かばらデイサービスセンター
（蒲原診療所3階）

会費：500円
申し込み：診療所 受付まで

「日本国憲法前文。第9条」があり、参加者370人の憲法を守ろうの熱気に包まれました。

報告 美濃 哲夫